

令和6年度 青森県県土整備部優良建設関連業務表彰

地域整備部長表彰

業務の概要

業務名	今別蟹田線道路改良道路概略設計業務委託		
受注者名	大日本ダイヤコンサルタント株式会社		
業務箇所	東津軽郡今別町大字大川平 地内	請負金額	8,844,000円
履行期間	令和5年7月1日～令和6年3月25日	成績評定点	84点
完成年月日	令和6年3月25日	推薦公所	東青地域県民局地域整備部
管理技術者	岡田 篤	総括調査員	工藤 徳永
業務概要	道路概略設計 L=3.8km	主任調査員	黒滝 年昭
	費用便益分析 N=1式	調査員	渋谷 慎兵

推薦理由

今別蟹田線は津軽半島北部地域の生活、観光、物流、防災等のあらゆる面で重要な役割を果たしているが、山間部の通称「小国峠」は急勾配や急カーブが多く特に冬期間は車両事故が多発しており、地元からは年間を通して安全に利用できる道路整備を要望されているところである。

当該業務は、小国峠付近の道路改良を目的に道路概略設計(B)L=3.8km及び費用便益分析N=1式を行ったものであり、ETC2.0°ロ-ブデータを活用した急挙動や道路利用特性分析、点群データによる地形やコントロールの把握、3次元CADによる整備イメージ図の作成を踏まえた計画ルートの選定等、「難易度が高い業務に対し優れた技術力を発揮したもの」に該当することから、青森県県土整備部優良建設関連業務に推薦するものである。

写真・図面等

■急挙動分析

●小国峠における車両の急挙動発生箇所を整理。

- ・km当たり発生件数が最も多い区間は、終点の主要地方道鎌ヶ沢蟹田線との交差点付近の集落区間であり、接続道路が多いため急挙動が多発していると考えられる。
- ・次点で発生件数が多い区間は小国峠前後区間（散水区間）であり、今別蟹田線の単路部においては最も件数が多い。



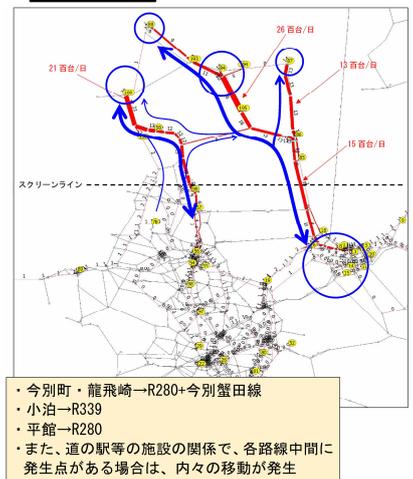
■道路利用特性分析

■通常期：平日

最も多い動線は、今別蟹田線を通過する「青森方面～今別町」の動線であり、約37%を占める。休日と異なり龍飛崎や道の駅などの観光地へのトリップよりも今別町へアクセスする動線が多くなる結果となった。



■OD分析



受賞コメント

この度は、東青地域整備部長表彰を賜り、誠にありがとうございます。ご指導を頂きました東青地域県民局地域整備部の調査職員の皆様並びに県土整備部道路課の皆様には心から感謝申し上げます。

対象となる今別蟹田線は雪寒山岳部を通過するため、冬期を克服する安全な道路構造を、より経済的に整備する必要があり、現況分析を踏まえ、特にルート検討では計画精度の向上に努めました。

優良業務の評価を頂いたことは、この上ない喜びであります。改めて御礼申し上げます。

今回の受賞を励みとしまして、さらなる技術の向上に努め、より一層地域社会に貢献できるように精進して参ります。



代表取締役社長
原田 政彦



管理技術者
岡田 篤